

共同研究プロジェクト紹介 言語資源研究系の 共同研究プロジェクト

著者	前川 喜久雄
雑誌名	国語研プロジェクトレビュー
巻	3
号	2
ページ	61-62
発行年	2012-10
URL	http://doi.org/10.15084/00000707

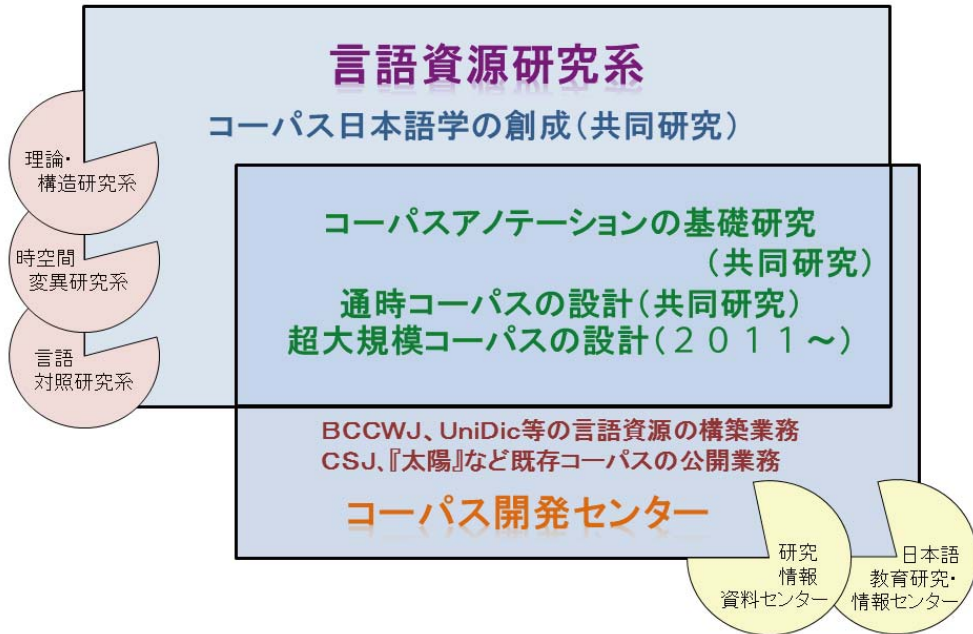
言語資源研究系の共同研究プロジェクト

Collaborative Research Projects in the Department of Corpus Studies

前川 喜久雄 (MAEKAWA Kikuo)

言語資源研究系は日本語の言語資源の構築と活用に関する基礎研究を行うことを使命としている。現在は、既に開発を終了した既存コーパスの利用価値を向上させることを目標としたコーパスアノテーション（検索用情報付与）に関する基礎研究を行うとともに、新たな課題として通時コーパスの設計とコーパス日本語学の創成のための基礎研究に着手したところである。またコーパスを利用した日本語研究を振興するための活動も実施している。

言語資源研究系



言語資源研究系においては基幹型3件、独創・発展型2件、領域指定型3件の共同研究プロジェクトが進行中である。ほかに言語資源研究系に属する研究者がリーダーを務める萌芽・発掘型プロジェクトが4件ある。

クラス	プロジェクト名	リーダー
基幹型	コーパスアノテーションの基礎研究	前川
	通時コーパスの設計	近藤泰弘（青山学院大学／国立国語研究所）
	コーパス日本語学の創成	前川
独創・発展型	近代語コーパス設計のための文献言語研究	田中牧郎
	多様な様式を網羅した会話コーパスの共有化	伝康晴（千葉大学／国立国語研究所）
領域指定型	日本語教育のためのコーパスを利用したオンライン日本語アクセント辞書の開発	峯松信明（東京大学）
	文末音調と発話意図とを統合した話し言葉のアノテーションの可能性—日本語諸方言の同意要求表現を中心に考える—	岡田祥平（新潟大学）
	パラ言語情報および非言語情報の研究における基本概念の体系化	森大毅（宇都宮大学）
萌芽・発掘型	テキストにおける語彙の分布と文章構造	山崎誠
	テキストの多様性を捉える分類指標の策定	柏野和佳子
	統計と機械学習による日本語史研究	小木曾智信
	文脈情報に基づく複合的言語要素の合成的意味記述に関する研究	山口昌也

この号では基幹型プロジェクトのリーダーが各自のプロジェクトについて内容を紹介する。
 （言語資源研究系長）